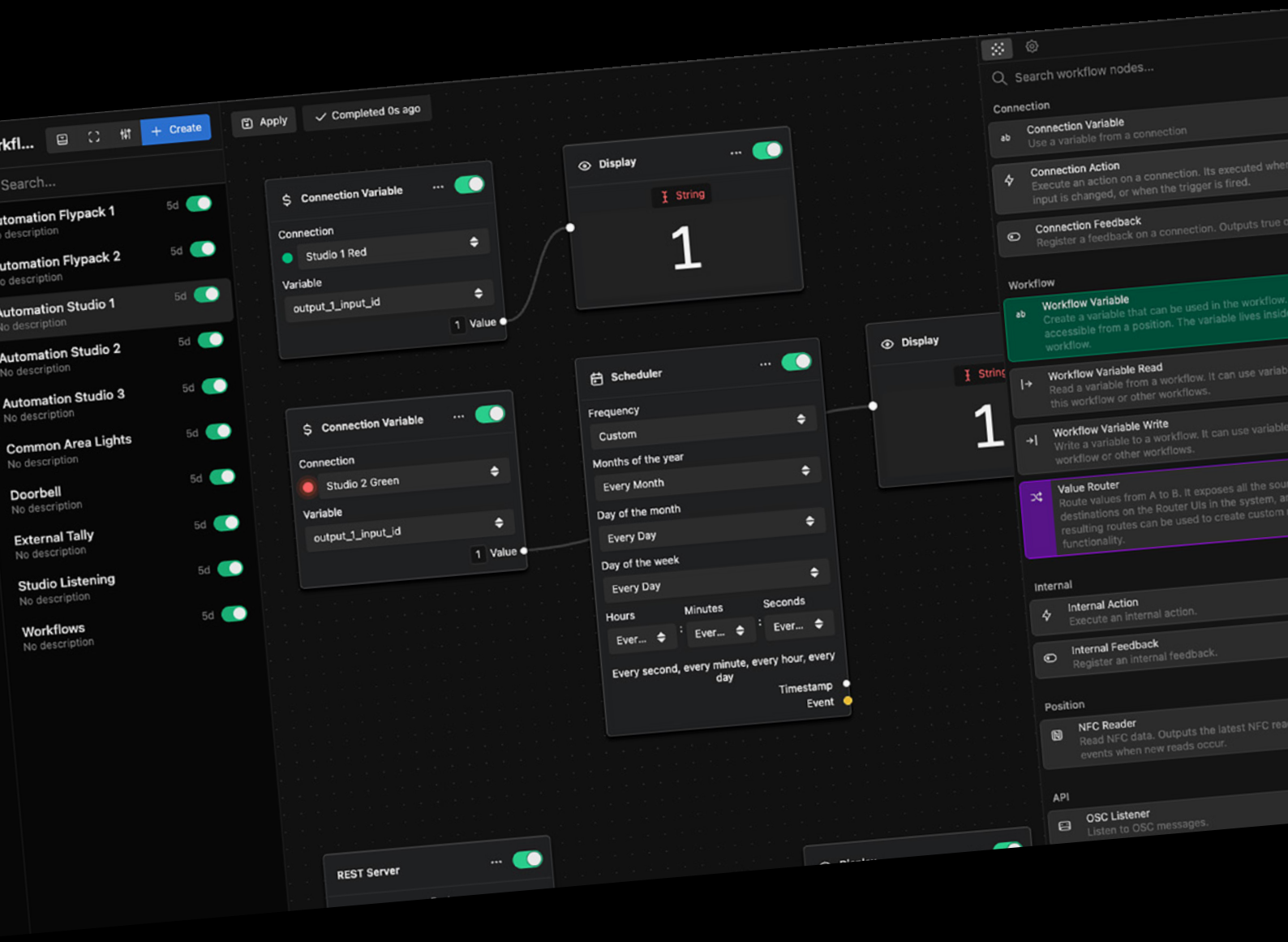
Bitfocus

FOR-A



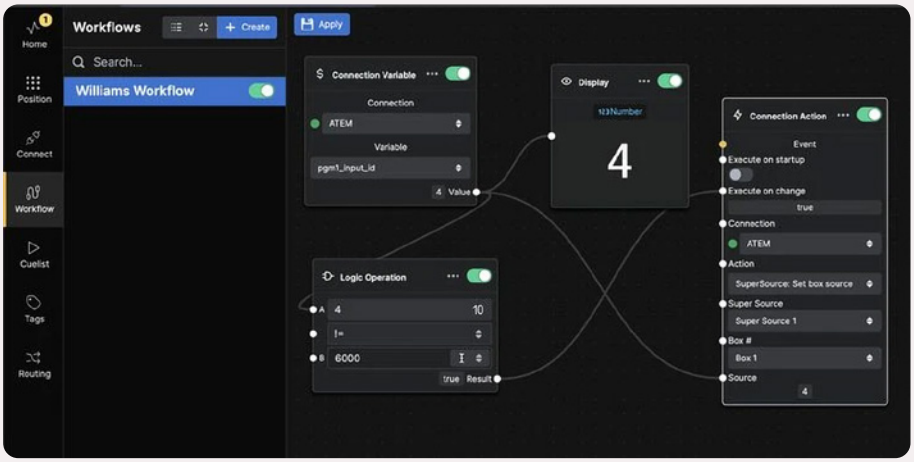
Bitfocus Buttons

KEY FEATURES

主要機能一覧

Workflows ワークフロー

グラフベースのプログラミングインターフェースを使用して、複雑なワークフローや一連の処理を構築できます。コードを書くことなく、高度な制作業務を自動化できます。アクション、フィードバック、変数、ユーティリティノードを組み合わせ、数式や条件式に基づくロジックを活用することで、柔軟かつ詳細な制御を実現します。



Visual Logic Editor ビジュアルロジックエディター

直感的に操作できるノードベースのインターフェースを使用して、複雑な自動化処理を構築できます。アクション、条件、トリガーを視覚的に組み合わせることで、イベントにリアルタイムで対応する高度なワークフローを実現します。

Expression-Based Control 式ベースの制御

数式や変数を活用することで、状況に応じた動的な動作を実現します。ワークフロー内で条件の判定や計算を行い、システムの現在の状態に基づいて、適切な処理を自動的に実行できます。

Reusable Components 再利用可能なコンポーネント

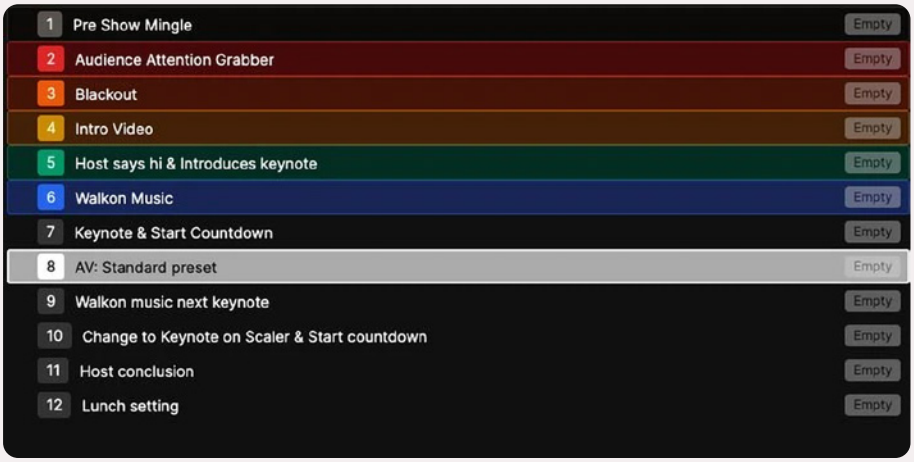
一度作成したワークフローは、さまざまな場面で再利用できます。共通の自動化処理を組織全体で共有することで、運用の一貫性を確保し、設定にかかる時間を短縮することが可能です。

Event-Driven Automation イベント駆動型オートメーション

ボタン操作、フィードバックの変化、タイマー、外部イベントをきっかけに、ワークフローを自動実行できます。制作現場のニーズに即座に対応する、高度な自動化を実現します。

Cue Lists キューリスト

キューリストを作成し、使い慣れたアクション機能を使って、順番に呼び出すことができます。進行手順が決まっているショーや舞台演出など、タイミングや実行順序が重要となる制作現場に最適です。



Show Rundown Integration ショー進行表との連携

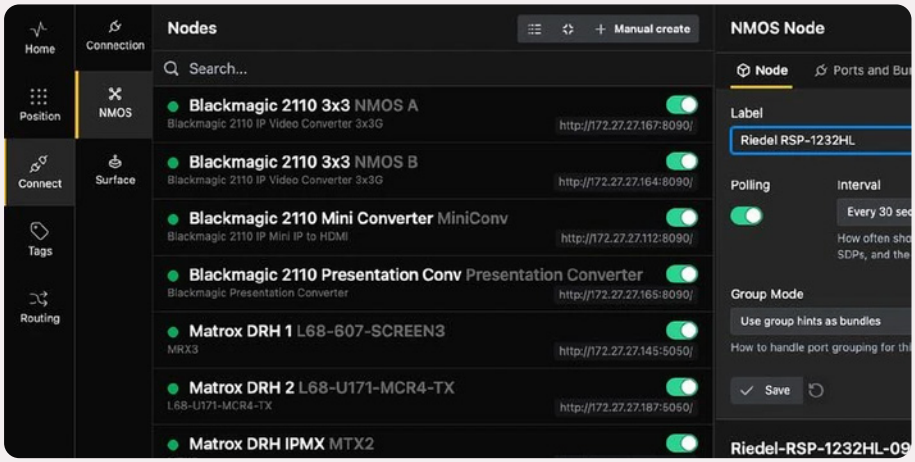
キューリストを進行管理システムと同期したり、独立したショー進行を構築したりすることが可能です。毎回同じ手順を正確に再現する必要があるイベントや公演に最適です。

Real-Time Control リアルタイム制御

キューは手動でも自動でも実行でき、現在実行中のキューや次のキューを画面上で確認することが可能です。進行状況に応じて、キューのスキップ、特定部分の繰り返し、先のキューへのジャンプなど、柔軟に対応できます。

Native NMOS Routing NMOS ルーティング

Buttons は、NMOS 規格を使用した ST 2110 および IPMX の映像・音声信号のルーティングに対応しています。業界標準プロトコルをネイティブサポートし、最新の IP ベースのインフラを自在に制御。ネットワークに接続されたメディア機器のシームレスなルーティングと管理を実現します。



SMPTE ST 2110 Support SMPTE ST 2110 対応

プロフェッショナルメディア向けの IP 伝送規格「ST 2110」をネイティブサポート。非圧縮の映像・音声・補助データをネットワーク上でルーティングし、放送制作に求められる高精度な制御を実現します。

IPMX Integration IPMX との連携

IPMX に対応し、AV over IP システムを直感的に制御。IPMX 対応機器と従来の放送機器を、統一されたインターフェース上で一元管理することができます。

NMOS Discovery and Control NMOS 機器の自動検出と制御

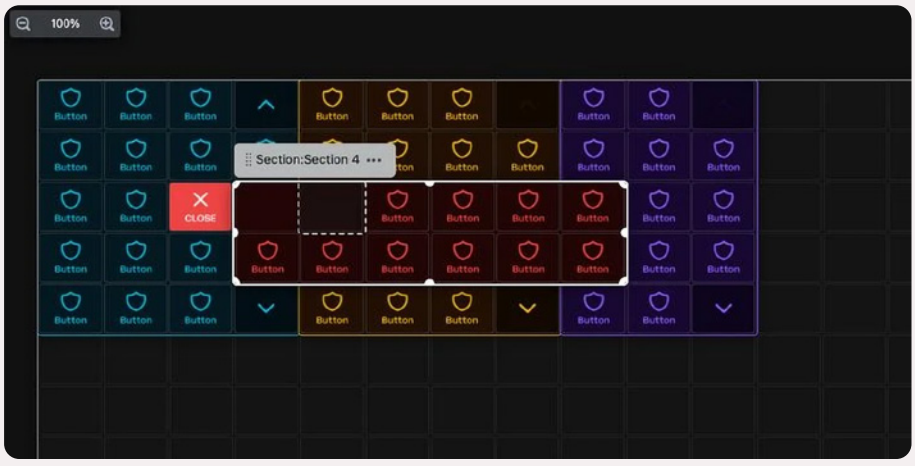
ネットワーク上の NMOS 対応機器を自動検出します。利用可能な送信機器と受信機器の確認、ルーティングの設定、接続管理を直感的なインターフェースから操作できます。複雑な IP アドレスの管理を意識することなく、効率的な運用が可能です。

Hybrid Workflows ハイブリッドワークフロー

IP ルーティングと従来の SDI ルーティングを、同一のワークフローに統合できます。新旧両方のインフラを同時に切り替えるボタンを設定でき、IP ベースの制作環境への円滑な移行を支援します。

Popovers ポップオーバー

必要な操作にすばやくアクセスできるよう、クリックすると追加のボタンを表示するポップオーバーを設定できます。メイン画面をすっきりと保ちながら、関連する操作ボタンを必要なときにすぐに呼び出すことが可能です。



Contextual Controls 必要なときに呼び出せる操作パネル

必要なときだけ関連機能を表示するポップオーバーを設定できます。常時表示する必要のない補助的な操作、細かな調整機能、詳細設定などに最適です。

Nested Organization 階層的なコントロール構成

複雑な画面操作を必要とせず、コントロール機能を階層的に整理できます。ボタンを 1 回押すだけで関連する操作ボタンをまとめたパネルが開き、メイン画面には重要な機能だけを配置できます。

Quick Access Panels クイックアクセスパネル

特定の機器や機能に対応したポップオーバーパネルを作成できます。例えば「Camera 1」ボタンを押すと、アイリス、ゲイン、シャッター、プリセットなどの操作パネルが開き、必要な機能をまとめて操作できます。

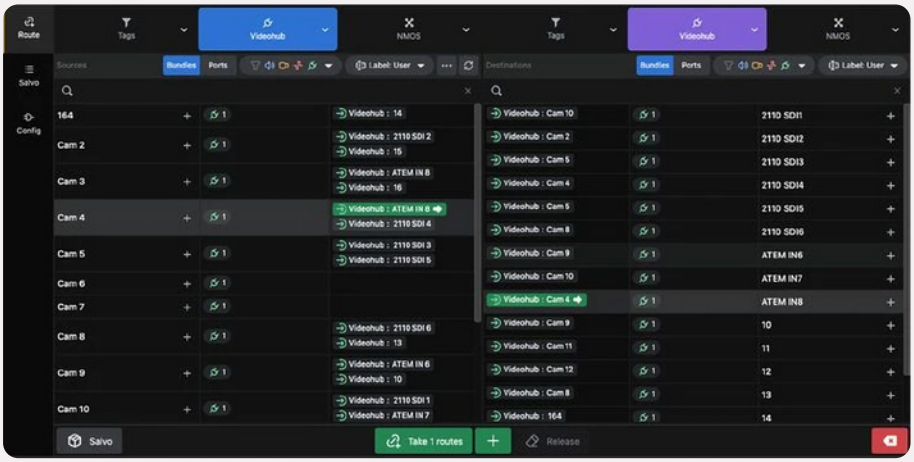
Space Optimization 操作画面のスペースを有効活用

補助的な機能をポップオーバー内にまとめることで、限られた操作画面のスペースを有効活用できます。1 つのボタンから多数の操作機能を呼び出し、必要なときだけ表示することで、すっきりとした操作環境を実現します。

Multi Routing & Salvos　マルチルーティングと Salvo

ルーティング設定を保存し、個別のポートから複数のポートをまとめたバンドルまで、柔軟にルーティングを制御できます。直感的な Web インターフェースを使用して、多数のルーティングを一括設定でき、標準的な構成の再現などに最適です。また、Salvo 機能により、複数の機器にまたがる数十のルーティング変更を同時に実行できます。

※ マルチルーティングと Salvo 機能は、コネクターに統合されたルーティング機能を備えたデバイスにのみ対応。



Salvo Execution　Salvo の一括実行

複数のルーティングを同時に切り替える Salvo を作成できます。ボタンを 1 回押すだけで、システム全体にわたる数十から数百のルーティングを一斉に切り替え、ショーの構成変更を正確に実行します。

Bundled Routing　信号の一括ルーティング

映像・音声・データなど、関連する信号をバンドルとしてまとめて管理できます。1 回の操作で信号経路全体を切り替え、ルーティング変更時にも各信号の同期を維持します。

Visual Routing Interface　視覚的なルーティング操作

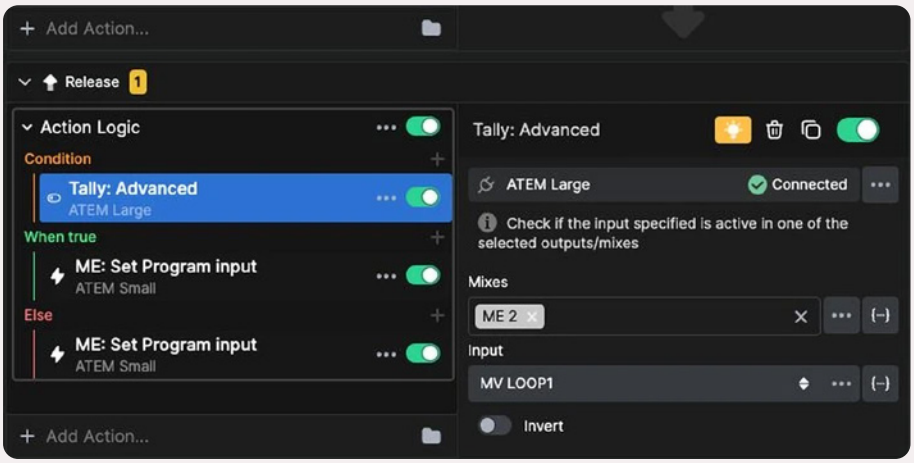
直感的な Web インターフェースを使用して、ルーティングの設定や変更を視覚的に行えます。現在の接続状況や信号の流れを確認しながら変更内容を検討し、設定を保存して再利用することも可能です。

Hybrid SDI and IP　SDI と IP のハイブリッド制御

従来の SDI ルーティングと、NMOS による IP ルーティングを組み合わせた Salvo を作成できます。新旧のインフラにまたがる複雑なルーティングを一括実行し、シームレスなハイブリッド運用を実現します。

Conditional Actions　条件付きアクション

フィードバックや変数など、設定した条件を満たした場合にのみ、ボタンのアクションを実行できます。システムの現在の状態に応じてボタンの動作を切り替えることで、制作現場のニーズに合わせた柔軟な制御を実現します。



State-Aware Control　システムの状態に応じた制御

システムの現在の状態に応じて、ボタンの動作を自動的に切り替えます。例えば、カメラがオンエア中でなければそのカメラの映像に切り替え、すでに選択されている場合はプリセットを呼び出すなど、1 つのボタンで状況に応じた操作を実行できます。

Feedback-Based Logic　フィードバックに基づく動作制御

機器からのフィードバックを利用して、ボタンの動作を制御します。例えば、映像のルーティングが完了している場合にのみ音声を有効にする、カメラがオンエア中の場合にのみグラフィックスを表示するなど、特定の条件を満たしたときだけアクションを実行します。

Variable Evaluation　変数による条件判定

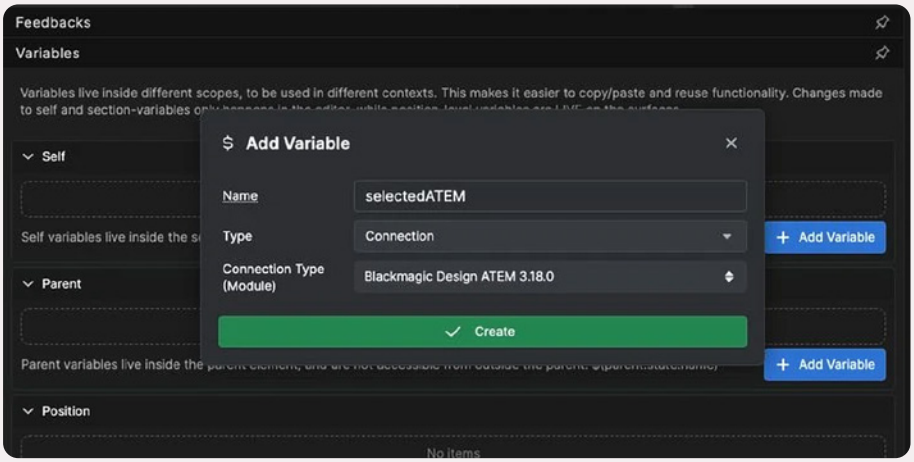
変数や数式を使用して、アクションの実行条件を設定できます。値の比較、範囲の確認、複雑な条件判定などを組み合わせることで、プログラミングを行うことなく高度な自動化を実現します。

Safety Interlocks　誤操作を防止する安全制御

条件判定を利用して、誤操作によるトラブルを防止します。例えば、オンエア中の映像ソースを誤って切断する操作を防いだり、重要な操作を実行する前に複数の条件を満たしているか確認したりすることで、安全性の高い運用を支援します。

Patchable Connections　接続先を切り替えられるボタン設定

スタジオや機器ラックなど、異なる接続先を切り替えて操作できるボタンを作成できます。一度作成したボタンのレイアウトは、制御対象となる機器の接続先を変更するだけで、さまざまな環境で再利用が可能です。設定にかかる時間を大幅に短縮し、複雑な設定作業を軽減します。



Reusable Button Layouts　再利用可能なボタンレイアウト

一度作成したボタンレイアウトを、さまざまな運用環境で再利用できます。例えば、同じ「Camera 1」ボタンでも、接続先を切り替えるだけで異なるカメラを制御でき、設定を複製する必要がありません。

Multi-Studio Flexibility　複数スタジオでの柔軟な運用

ボタンレイアウトの接続先を変更するだけで、異なるスタジオやコントロールルーム、会場の機器を操作できます。共通の操作画面を複数の拠点で使用できるため、オペレーターの習熟にかかる負担や設定作業を軽減します。

Hot-Swappable Devices　機器の交換・切り替えに対応

機器の故障やメンテナンスが必要になった場合も、接続先を予備機に切り替えることで運用を継続できます。ボタンの設定を変更することなく、切り替え先の機器をそのまま操作できます。

Dynamic Workflows　接続構成に応じたワークフロー

接続先の設定に応じて、自動的に動作を切り替えるワークフローを構築できます。同じ自動化処理で異なる機器を制御できるため、システムの柔軟性が高まり、運用や保守の負担を軽減します。

詳しくはこちら

記載の商品名および社名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
外観および仕様は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
本資料と実物の製品の色は、印刷の関係で多少異なる場合があります。

2026/11

株式会社朋栄
本社 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3-8-1
TEL：03-3446-3121（代）
www.for-a.co.jp